



# コロナ禍 2回目の4月がスタート!

## 令和3年度 始業式 校長あいさつ

まずは、全員が元気に新年度を迎えられたことを嬉しく思います。そして、進級おめでとう。さて、皆さん。昨年度、クラスの前面の壁に掲示されていた2つの言葉を覚えていますか?・・・そうです。「自立」・「貢献」でした。実は、これは昨年度、福間中の目指す生徒像でした。令和3年度は、福間中学校の目指す生徒像を「自立」・「貢献」から「自立」・「共働」・「参画」へ新化させます。一般的に最上位目標は学校教育目標「福津を愛し、健やかで、未来に向けて意欲的に学ぶ子ども」ですが、まずは目指す生徒像を最上位目標とし、「自立」・「共働」・「参画」をみんなで共有したいと思います。その具体的な姿は全生徒・全職員・関係する保護者・関係する地域住民のみんなが「目指す生徒像」を言えるようになることです。

私は、「自立」・「共働」・「参画」のそれぞれの生徒の具体的な姿を、次のように考えています。「自立」とは、自分で考え、自分で判断し、自分で決定し、自分から行動できる生徒のことです。具体を示せば、必要なことを自分で考えて行動する、自分の考えをしっかりと持っている、自分の強みや弱みを理解している生徒をイメージしています。「共働」とは、同じ目的のため、力をあわせて学ぶこと、働くことのできる生徒です。具体を示せば、人権意識が向上しており、相手の立場や考えを尊重でき、対話による合意形成ができる生徒をイメージしています。「参画」とは、地域の担い手から創り手へ、地域貢献から地域参画ができる生徒のことです。具体を示せば、福津市民であるという当事者意識が向上しており、企画力・創造力・機動力を発揮し、地域と学び、地域で学び、地域の課題を考え、地域に積極的に出向くことのできる生徒をイメージしています。今年は、この3つの言葉が全クラスの前面の壁に掲示される予定です。

さて、今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。先日、東京オリンピックの代表選考を兼ねた競泳日本選手権において、池江璃花子選手が白血病という大病から2年で復帰し、1年もたたずに数種目のオリンピックの出場を決めたという嬉しいニュースを見ました。以前あるテレビ番組の特集で池江選手が、苦難の先に見つけたことについてこんな風にインタビューに答えていました。「人間って、当たり前のことを当たり前に行っているけど、それが突然当たり前じゃなくなって、それがまたできるようになったとき、すごい幸せを感じる。」「病を経験したことで泳ぐ意味が大きく変わり始めました。」「物事に対してネガティブに捉えないで、これこそが自分の人生だと捉えるようにしたらすべてが楽しく思えるようになりました。」「ここまで元気になれる人間がいるのだから、あなたも元気になれるよって伝えたい。」池江選手の捉え方や考え方、そして努力は、日本中いや、世界中の病等と闘っている人に勇気と希望を与えてくれたと思います。

皆さん、コロナ禍での日常生活や学校生活の制限はまだしばらく続きそうです。おかれた現状の捉え方や考え方をプラス思考に変えて、すべてが楽しいと思えるようになってほしいと思います。そして、少しずつ一歩ずつ目指す生徒像に近づいてほしいと願っています。